

竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

春

いつまで寒い日が続くのだろうかと思っているうちに、舜虹苑の桜の花のつぼみも膨らみ、はや七分咲き、施設周辺には、たんぼぼやくしが所狭しと芽を出しています。「つくしがたくさん生えてましたよ。」と職員の声掛けに、「そりゃ、取りに行かないかん。」「煮つけにしたら美味しんで。」「つくしの掃除が大変じゃわ。」等と利用者様の声、利用者様と職員は、暖かな陽気に誘われるように、つくし取りに行かれています。

春の何気ない日常の一コマですが、私は、春（桜の季節）になると『一期一会』という言葉を思い出します。『一期一会』の語源は、茶人 千利休が説いた茶道の心得にあると言われてます。その後、江戸時代の大老 井伊直弼の自著『茶湯一合集』に、「茶会は一期一会と言って、何度も同じ人と茶会で同席することがあるとしても、この茶会は一生涯にその日一度のこと、二度と同じ時に戻ることはできないのだから心を尽くしておもてなししなければならぬ」と、初めて『一期一会』という言葉として述べられているそうです。

毎日顔を合わせている家族や友人、そして舜虹苑で会う方々であっても、言葉や関わりを持つその一瞬一瞬は二度とないので、出会えたことに感謝し、思いやりの心を持って接しなければならぬと、私は解釈しています。舜虹苑の中だけで考えてみても、私たちは普段から利用者様、ご家族、業者の方、職員等、色々な人に何度も出会っていますが、考えてみるとその時その時の出会いは一度だけで、二度と同じ機会は訪れることはありません。やはり、毎日が『一期一会』であり、「出会った時が別れの時」と考えられます。毎回の出会いが別れの時と考えると、言葉の使い方、自分の行動、考え方等、その一瞬の大切さをひしひしと感じます。

施設長を拝命し、二度目の春を迎えました。皆様に支えられながら日々過ごすことができているのだと、昨年度を通じて改めて実感した一年でした。一瞬一瞬を大切に積み重ね、舜虹苑を利用して良かった、舜虹苑で安心と思っ頂けるような舜虹苑でありたいと思います。

皆様には、どのような春が訪れているのでしょうか？

施設長 川原 江美



竜雲舜虹苑 新人職員紹介



赤松 歩美

4月より特養の正規職員になりました。8年間のデイサービスの経験を活かして季節に合った飾り付けを頑張りたいと思います。



高根沢 覚

4月よりショートステイで働きます。利用者様に楽しく過ごして頂くために明るく元気よく仕事に励みたいと思います。



竹本 律子

特養で以前に5年間勤務しておりましたが1年ぶりに復帰します。介護力向上に努め、初心に帰って頑張ります。

全体会について

施設長代理 三宅 啓太郎



去る4月6日、「全体会」を開催しました。竜雲舜虹苑には、特別養護老人ホームを中心に様々な在宅サービスの事業所が併設されており、70人を超える職員が働いています。これだけの規模になると全職員と顔を合わす事もなかなか困難です。そのような中「全体会」は年に一度、全職員が一堂に会し、顔を合わせる事ができる貴重な機会となっています。

「全体会」では自己紹介と共に、各個人の目標を一人ずつ発表していきます。職員の年齢層も幅広く、発表する目標も業務に関する事、資格の取得、体重の減少など多種多様です。仕事に対する思いを熱く語る人、ウイットに富んだ表現で面白可笑しく発表する人など職員の個性が光り、和やかな雰囲気では終わりました。

介護の仕事は職員間の情報共有や連携が最も重要視される仕事です。今年度も竜雲舜虹苑は、この個性豊かな職員達と多様性を大事にして、より良い介護支援が提供できるように努めて行こうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



社会福祉法人竜雲学園 竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム
短期入所サービス
通所介護サービス
認知症型通所サービス
訪問介護サービス
老人介護支援センター
ケアハウス



〒761-8078
高松市仏生山町甲 3100 番地 2
TEL: 087-888-5800
FAX: 087-889-1004

お花見外出に行ってきました。

今年肌寒い日が続き、桜の開花もいつもの年より遅かったのですが、恒例のお花見に行ってきました。4月6日は三郎池。桜の木の下で記念撮影、途中で雨が降ってきたので苑にもどり、お弁当は桜の見えるお部屋で食べました。「きれいな桜やなー」「ずっとここにのりたいわー」とお花見を楽しみました。4月7日は近くの法然寺。お昼は竜雲うどん、温かいうどんを食べました。「私は、きつねが好きなんや」とお腹が満腹になったところで、境内へ。桜が見事に満開で「雨が降らんで良かったね」と皆さん、大変喜ばれました。

